

# Mizuho Daily Market Report

2023/4/12

## 為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	133.13	133.68	+0.07	+1.97
EUR	1.0898	1.0912	+0.0053	▲0.0041
AUD	0.6668	0.6654	+0.0013	▲0.0097
SGD	1.3312	1.3326	▲0.0003	+0.0071
CNY	6.8860	6.8860	+0.0013	+0.0067
MYR	4.4150	4.4185	+0.0090	+0.0142
THB	34.23	34.23	▲0.11	+0.02
IDR	14886	14883	▲19	▲17
PHP	54.90	54.91	+0.49	+0.42
INR	82.09	82.13	+0.14	▲0.20

## 金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.426%	+0.9 bp	+8.8 bp
日本(10年)	0.463%	▲0.5 bp	+3.8 bp
ユーロ圏(10年)	2.311%	+12.8 bp	+6.2 bp
オーストラリア(5年)	2.963%	+5.4 bp	▲2.8 bp
シンガポール(5年)	2.806%	▲3.9 bp	▲10.8 bp
中国(5年)	2.657%	▲1.6 bp	▲2.8 bp
マレーシア(5年)	3.521%	+0.0 bp	▲2.7 bp
タイ(5年)	2.085%	▲0.6 bp	▲0.7 bp
インドネシア(5年)	6.361%	▲1.7 bp	+0.0 bp
フィリピン(5年)	5.929%	+16.5 bp	+5.5 bp
インド(5年)	7.041%	+2.6 bp	▲13.0 bp

## 株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	33,684.79	+0.3%	+0.8%
N225(日本)	27,923.37	+1.0%	▲1.3%
STOXX50(ユーロ圏)	4,333.29	+0.6%	+0.4%
ASX(オーストラリア)	4,229.53	+0.6%	+1.8%
FTSTI(シンガポール)	3,297.83	+0.1%	▲0.4%
SSEC(中国)	3,313.57	▲0.1%	+0.0%
KLSE(マレーシア)	1,435.89	+0.5%	+0.4%
SETI(タイ)	1,597.10	+0.2%	+0.2%
JKSE(インドネシア)	6,811.314	+0.6%	▲0.3%
PSE(フィリピン)	6,479.63	▲0.1%	+0.1%
SENSEX(インド)	60,157.72	+0.5%	+1.8%

## 商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	274.73	+1.1%	+1.3%
金	2,003.62	+0.6%	▲0.8%
原油(WTI)	81.53	+2.2%	+1.0%
銅	8,851.50	+0.5%	+1.3%

\*1週間前の終値と比較

## 【本日の予想レンジ】

USD/JPY	132.60	—	134.20
EUR/USD	1.0850	—	1.0980
AUD/USD	0.6600	—	0.6710
USD/SGD	1.3260	—	1.3360
USD/CNY	6.8840	—	6.9080
USD/MYR	4.4020	—	4.4320
USD/THB	34.15	—	34.50
USD/IDR	14820	—	14960
USD/PHP	54.60	—	55.20
USD/INR	81.80	—	82.40

## 【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:  
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department  
Tel: 65-6805-4100

## 【為替】

アジア時間のドル円は133円台半ばの水準で取引を開始。利食いのフロー等から133円台前半まで下落する局面も見られたが、仲値にかけてはドル買い優勢となり、一時133円台半ばまで値を戻した。その後は、米金利低下に追隨する形で下落圧力がかかる一方、10日に植田日銀総裁が金融緩和策継続を示唆したことから下値は限定的となり、133円台前半から半ば近辺でもみ合い。133円台前半で海外時間へ渡った。

アジア通貨は小幅に上昇。米金利低下を受けたドル売りの流れを受け、新興国通貨は対ドルで堅調に推移した。フィリピン2月の貿易収支が発表され、事前予想対比で貿易赤字幅が縮小したが反応は限定的。また、韓国中銀は政策金利を前会合に引き続き据え置くことを決定した。

海外時間のドル円は、欧州時間入り後に円買戻しの流れが優勢となり小幅に下落。米州時間入り後は米金利上昇とダウ平均指数の堅調推移を受け、円売り優勢となり、133円台後半まで反発。米州時間午後はグルズビー・シカゴ連銀総裁の利上げに対するハト派色の強い発言を嫌気して、売られる場面も見られたが、その後再び買い戻され133円台後半付近で揉み合いとなり、明日に米3月CPI発表を控え様子見姿勢が強くなり同水準で取引を終了。

## 【金利】

昨日の米債利回りは小幅上昇。前週末の米3月雇用統計後の値動きをフォローする形でじりじり売られたが、シカゴ連銀のグルズビー総裁の政策金利引き上げにおいて金融当局には慎重さと忍耐が求められる、との趣旨の発言が伝わったことなどから買い戻され、広い年限でほぼ横ばい圏でクローズ。

## 【予想】

本日のドル円は米CPIの発表を海外時間に控え、様子見ムードとなろう。先週の米雇用統計において発表された米平均時給の伸び幅が引き続き低下傾向を維持していることを踏まえれば、本日発表されるCPIの結果も低下傾向を維持するものと考えられ、どちらかと言えばCPI下振れ、ドル売りの流れに注意したい。

## 【本日の予定】

(日本) 2月 コア機械受注  
(日本) 3月 国内企業物価指数  
(日本) 3月 銀行貸出動向  
(アジア) 2月 インド 鉱工業生産  
(アジア) 3月 NZ クレジットカード支出小売 / クレジットカード支出合計  
(アジア) 3月 インド CPI  
(アジア) 3月 韓国 失業率  
(欧州) 3月 愛 新車登録台数  
(欧州) 伊 国債入札(12M)  
(欧州) 独 国債入札(30Y)  
(米国) 3月 CPI  
(米国) 3月 実質平均時給・実質平均週賃金  
(米国) 3月 月次財政収支  
(米国) FOMC議事録  
(米国) MBA住宅ローン申請指数  
(米国) カシカ・ミネアポリス連銀総裁講演  
(米国) 国債入札(10Y)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。